

2023年度

東京音楽大学
入学試験要項

＞ 一般選抜
(A日程・B日程)

編入学試験 ＜

2023年度 入学試験要項

- I 募集要項
- II 一般選抜（A 日程）
- III 一般選抜（B 日程）
- IV 入学試験科目・実技試験課題曲

 編入学試験

目 次

アドミッション・ポリシー	4
--------------	---

I 募集要項

1 募集専攻・募集人員	7
2 出願資格	7
受験上・修学上の配慮を希望する出願者について	8
個別の入学資格審査について	8
3 日程一覧	9
4 出願手続	10
演奏実技動画撮影上の注意・データ形式について	14
5 入学検定料	15
6 合格発表	15
7 入学手続	16
8 学費その他の納入金	17
9 教育充実協力金について	17
10 奨学金制度・経済的支援制度	17
11 学生寮（女子）	18

II 一般選抜（A 日程）

1 専攻別試験科目・配点	20
2 併願について	21
3 入学試験	23

III 一般選抜（B 日程）

1 専攻別試験科目・配点	26
2 併願について	27
3 入学試験	28

IV 入学試験科目

1. 声 楽 専 攻

声楽芸術

○入学試験科目	30
---------	----

2. 器 楽 専 攻

1. 鍵盤楽器

○入学試験科目	32
---------	----

◇課題曲

■ピアノ	33
■ピアノ演奏家コース	33
■ピアノ・創作コース	34
■チェンバロ	35
■オルガン	35

2. 弦・管・打楽器

○入学試験科目	36
---------	----

◇課題曲

弦楽器

■ヴァイオリン	37
■ヴィオラ	38
■チェロ	38
■コントラバス	39
■ハープ	39
■クラシックギター	39

木管楽器

■フルート	40
■オーボエ	40
■クラリネット	41
■ファゴット	41
■サクソフォーン	41

金管楽器

■ホルン	42
■トランペット	42
■トロンボーン	42
■バス・トロンボーン	43
■チューバ	43
■ユーフォニアム	43

打楽器

■ティンパニ	44
■小太鼓	44
■マリンバ	44

3. 作曲指揮専攻

1. 作曲「芸術音楽コース」
○入学試験科目 45
2. 作曲「ミュージック・メディアコース」
○入学試験科目 47
3. 指揮
○入学試験科目 49

4. 音楽文化教育専攻

- 入学試験科目 51

5. ミュージック・リベラルアーツ専攻

- 入学試験科目 52

6. 吹奏楽アカデミー専攻

- 入学試験科目 54

編入学試験

- 1 編入学試験 募集専攻・募集人員 61
- 2 出願資格 61
- 3 他大学・短期大学単位認定範囲 62
- 4 編入学者卒業要件 62
- 5 日程一覧 62
- 6 出願手続 62
- 7 編入学検定料 65
- 8 編入学試験 65
- 9 合格発表 66
- 10 編入学手続 67
- 11 学費その他の納入金 67
- 12 教育充実協力金について 68
- 13 専攻別試験科目・配点 68
- 14 編入学試験科目・実技試験課題曲 68

- 専攻別曲目記入票 記入方法 70

個人情報の利用について

- ①東京音楽大学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を、入学試験業務に利用します。
- ②東京音楽大学は、上記の個人情報を、大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

アドミッション・ポリシー

東京音楽大学では、入学者が本学において実りある学びを円滑に行えるように、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を定めています。これは、本学を受験する皆さんに、入学前に身に付けておいていただきたい能力や姿勢を示す基本方針です。本学の入学試験や選抜方法には、アドミッション・ポリシーが反映されています。

○大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。

○音楽の学習には外国語も必要です。

○専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

各専攻のアドミッション・ポリシーは次の通りです。

声楽専攻

●声楽芸術

音楽～歌～を愛し、演奏家、教育者などを目指して学ぶための資質を有し、熱意を持って努力し続けることのできる人材を求めます。また、国際的にも活躍できる実力を持った音楽家の育成を目指すという観点から、その学習のためのより高い資質、より強い意欲が必要です。声を楽器として創り上げるために、基礎的な歌唱力、語学力が必要です。また、周囲との協調性や社会性も身に付け、豊かな人間性を育むために、広い視野を持って学ぶ姿勢が望まれます。

器楽専攻

●ピアノ

ピアノ音楽の学習を通して豊かな人間性、社会性を育むために、ピアノに限定することなく音楽に関して幅広く関心を持ち、外国語を始めとする教養科目にも勉学意欲のある人材を求めます。ピアノ演奏の系統的な学習を円滑に行うために、基礎的なピアノ演奏技術と演奏スタイルを習得していることが必要です。

●ピアノ演奏家コース

プロフェッショナルな音楽家として社会で活動できるよう、ピアノに限定することなく音楽に関して幅広い体験を積み、国内外を問わず活動の場を拡げていく意欲のある人材を求めます。器楽専攻ピアノよりも高度なピアノ演奏能力を目指すために、一定水準以上のピアノ演奏技術と演奏スタイルを習得していることが必要です。

●ピアノ・創作コース

ピアノを中心としながら、創作、即興、伴奏付けなど音楽活動を幅広く行う意欲のある人材を求めます。器楽専攻ピアノのアドミッション・ポリシーに加え、自作曲の創作経験が必要です。

●チェンバロ

19世紀音楽とは異なる音楽的価値やそれに応じた解釈力を学ぶことが要請されるため、音楽理論や楽器の構造への関心と歴史的な視野を持って意欲ある学びのできる人材を求めます。基礎的なチェンバロ演奏技術を習得していることが必要です。

●オルガン

オルガン奏法を多面的に学ぶために、演奏だけではなく、楽器の構造や歴史、音楽理論なども積極的に学ぶ意欲のある人材を求めます。基礎的なオルガン演奏技術を習得していることが必要です。

●弦楽器

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求し、様々な音楽分野での活躍を希望する人を求めます。各楽器において、基礎的な演奏技術と表現力を有していることが必要です。

●管・打楽器

管楽器と打楽器において、高度な技術と豊かな表現力の獲得を目指し、様々な音楽分野での活躍を希望する人を求めます。各楽器において、基礎的な演奏技術と表現力を有していることが必要です。

作曲指揮専攻

●作曲「芸術音楽コース」

様々な芸術に対して興味を持ち、将来的に個性ある発信ができる人材を求めます。和声学の知識、及び楽曲制作のための技術と様式感を備えていることが必要です。

●作曲「ミュージック・メディアコース」

ポピュラー音楽を始め、様々なジャンルの音楽について興味を持ち、かつ音楽に打ち込む真剣な姿勢や熱意を備えている人材を求めます。コードネームの理解と伴奏付けの能力、基本的な和声の知識を持ち、自作曲のデモ演奏または基本的なデモ音源制作ができることが必要不可欠です。

また、今後コンポーザー、アレンジャーとして、演奏やパフォーマンスといった音楽に関わる部分に興味を持つのはもちろんのこと、現在音楽を取り巻くあらゆるツールに関しても、幅広い興味を持ち、積極的に自身の活動に生かすことのできる意欲を持つ人材を求めています。

●指揮

指揮者としての将来像を明確に描き、リーダーとして活躍できるように努力する覚悟を持っている人材を求めます。そのために、高いレベルの音楽基礎能力と、コミュニケーション能力が必要です。

音楽文化教育専攻

音楽文化に関心を持ち、その研究と実践を通して社会に貢献しようとする以下のような学生を受け入れます。

- 1 多様な音楽文化への幅広い関心を持ち、実践活動に参加してきた者。
- 2 将来の音楽教育者及び音楽文化の実践者の基礎となる音楽知識や技術を、高等学校までの音楽の授業及び課外活動を通して身につけた者。
- 3 論理的な思考ができ、自分の考えを文章や口頭で表現できる者。

ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽を愛し、音楽を専門分野として修得する意欲をもつとともに、高等学校までの基礎的な英語力があり、人や社会、歴史等に幅広く関心を持ち、主体性をもって学ぶ意欲のある学生を歓迎します。

吹奏楽アカデミー専攻

吹奏楽を愛し、より深い知識習得の意欲があり、熱意を持って向き合い、他者との関わりを大事にし、社会へ発信していこうという意欲のある人材を求めます。何らかの吹奏楽で用いられる楽器の基礎的な演奏技術を習得していることが必要です。

I 募集要項

- 1 募集専攻・募集人員
- 2 出願資格
- 3 日程一覧
- 4 出願手続
- 5 入学検定料
- 6 合格発表
- 7 入学手続
- 8 学費その他の納入金
- 9 教育充実協力金について
- 10 奨学金制度・経済的支援制度
- 11 学生寮（女子）

1 募集専攻・募集人員

募集専攻	コース・楽器	
声楽専攻	●声楽芸術	
器楽専攻	●ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース チェンバロ、オルガン ●ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター ●フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン ●ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム ●打楽器	
作曲指揮専攻	●作曲「芸術音楽コース」 ●作曲「ミュージック・メディアコース」 ●指揮	
音楽文化教育専攻		
ミュージック・リベラルアーツ専攻		
吹奏楽アカデミー専攻		

試験区分	募集人員	募集専攻
一般選抜(A日程)	235名	全専攻
一般選抜(B日程)	若干名	●声楽専攻 ●器楽専攻 ●作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」 ●音楽文化教育専攻 ●ミュージック・リベラルアーツ専攻 ●吹奏楽アカデミー専攻

※入学定員310名

2 出願資格

以下の1. 2. 3. のいずれかに該当する者

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
 3. 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者（2023年3月31日修了見込みの者を含む）、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）および2023年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（p.8「個別の入学資格審査について」参照）
- 社会人特別選抜は行いません。
 ● 編入学試験の出願資格についてはp.61を参照してください。

<受験上・修学上の配慮を希望する出願者について>

疾病および障がい等の理由で受験上の特別な措置および修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、下記の要領で本学入試課に書類を提出してください。提出書類に基づき、必要に応じて面談を行い、対応可能な範囲を相互に確認します。
なお、希望した配慮のすべてに対応できない場合があります。

【提出書類】

1. 受験上の配慮申請書

次の(1)から(9)の事項を記載してください。様式は問いません。

- (1) 氏名 (2) 住所・連絡先 (3) 出身校名 (4) 出願の専攻・コース・楽器 (5) 出身学校でなされていた配慮
(6) 受験上の特別な配慮を希望する事項 (7) 修学上の特別な配慮を希望する事項 (8) 日常生活の状況
(9) その他参考となる事項

2. 医師の診断書（配慮の必要性がわかるもの）、もしくは障がい者手帳のコピー

【期日】

一般選抜（A日程）、編入試験	一般選抜（B日程）
2023年1月6日（金）	2023年2月3日（金）

【宛先】

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課
TEL 03-6455-2754

<個別の入学資格審査について> 2 出願資格3.(6)により出願を希望する者

対象者は、事前に出席資格審査を受け、出席資格を認められた場合に限り出願できるものとする。

対 象	高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者または卒業見込の者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの（2 出願資格1.2.3.(1)～(5)に該当するものを除く。当該学校の中退学者は、高等学校卒業程度認定試験に合格すること。）		
申請期間	①一般選抜（A日程）の志願者で、大学入学共通テストを受験する者 2022年9月1日（木）～9月7日（水）（最終日の15:00までに必着のこと） ②①以外の一般選抜（A日程）志願者 2022年11月22日（火）～11月28日（月）（最終日の15:00までに必着のこと） ③一般選抜（B日程）志願者 2023年1月6日（金）～1月13日（金）（最終日の15:00までに必着のこと）	審査基準	申請者の当該学校の教育内容が、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ、申請者が卒業に必要な単位を修得または修得見込であること。
申請方法	次の書類を揃えて申請すること。なお、提出された書類は一切返却しない。 1.出席資格認定申請書（本学所定用紙） 2.当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの 3.当該学校の卒業証明書または卒業見込証明書 4.当該学校の成績証明書 5.当該学校の教育内容を証明できるもの（当該学校の卒業要件となる履修科目および単位時間数一覧） 6.返信用封筒（長形3号に申請者の宛先を明記し、速達料金344円分の切手を貼付すること）	審査結果	下記期日までに、申請者宛に郵送で通知。認定者には「出席資格認定書」を送付する。 ・申請期間①2022年9月16日（金） ※認定を受けた者は、大学共通テスト出願時に「出席資格認定書」を添付して大学入試センターに手続きのこと。 ・申請期間②2022年12月9日（金） ・申請期間③2023年1月27日（金）
申 請 先	〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課 ※「出席資格認定申請書類在中」と朱書きのこと。	受験上の注意	「出席資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学試験を出願・受験することができる。出願の際は、必ず本学発行の「出席資格認定書（写し）」を添付すること。

3 日程一覧

	一般選抜（A 日程）	一般選抜（B 日程）
出 願 期 間	1月 7日（土）～17日（火） [消印有効]	3月 4日（土）～9日（木） [必着]
試 験 期 間	2月16日（木）～20日（月）	3月19日（日）～20日（月）
合 格 発 表	2月27日（月）15:00～ 3月 1日（水）17:00	3月23日（木）15:00～ 3月25日（土）17:00
入学手続期間	3月 1日（水）～11日（土） [消印有効]	3月24日（金）～28日（火） [消印有効]

【備考】 ●試験会場・日程の詳細はメールで送信する案内を参照してください。（p.23およびp.28参照）

●合格は大学ホームページにて発表します。

※新型コロナウイルス(covid-19)感染状況、その他の事情により、試験日程・会場、試験方法が変更になることがあります。変更については本学ホームページ上で発表しますので、随時確認してください。

緊急の連絡は登録のメールアドレスにお知らせします。

※作曲「芸術音楽コース」(B日程)の試験は3月18日(土)～20日(月)に実施します。

<受験方式>

※ピアノ、ピアノ演奏コース、ピアノ創作コースについては、「対面式」と「非対面式（実技の動画審査）」から選択することが可能です。実技以外の試験科目は対面式での受験となります。

※ミュージック・リベラルアーツ専攻（ピアノ）、ミュージック・リベラルアーツ専攻（ピアノ演奏家コース）については、「対面式」と「非対面式（実技の動画審査及びオンライン面接）」から選択することが可能です。実技と面接以外の試験科目は対面式での受験となります。

※動画提出方法の詳細については、ホームページ「入試案内（学部）」の「演奏実技動画の撮影および提出方法について」を参照してください。

<追試験について>

1. 追試験対象者

一般選抜（A日程）に「対面式」で出願した受験生で、新型コロナウイルス感染症（covid-19）に関係する事由*により、受験できなかった場合は、入学検定料および出願内容を振り替えて追試験を受けることができます。

* (1)新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱、咳などの症状がある者

(2)新型コロナウイルスに感染して治療していない者

(3)新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者とされた者、または検査結果を待っている者

2. 日程

A日程：2023年2月16日(木)～20日(月)に実施する試験

追試験：3月19日(日)～20日(月)

※B日程：2023年3月19日(日)～20日(月)に実施する試験の追試験はありません。

3. 追試験受験申請方法

電話連絡をしたうえで必要書類を提出してください。

【電話連絡】

A日程を受験できなくなった場合は、試験期間中にその旨本学入試課までご連絡ください。
(TEL 03-6455-2754)

【書類提出】

以下の書類を入試課宛てに郵送してください。

(1)追試験受験申請書

次の①から⑤までの事項をA4判用紙に記載してください。様式は問いません。

①氏名②住所・電話番号③出身校名④出願の専攻・コース・楽器

⑤A日程を受験できなかった理由

(2)A日程受験票

(3)医師の診断書

【提出期間】 2023年3月4日(土)～9日(木)（消印有効）

【宛先】 〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課
封筒の表に「追試験受験申請書在中」と朱書きしてください。

4 出願手続

(1) 出願の流れ

出願方法はWeb出願のみです。

本学ホームページの「入試案内（学部）」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下図手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となりますのでご注意ください。

<「出願ガイド」、「出願書類ダウンロード」などWeb出願に必要なページの掲載場所>



STEP1

①Web出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」参照）

- ☐ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのうち、いずれかの機器
- ☐ メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@grapecity.com」「@sbpayment.jp」「@contact.grapecity.com」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
入学試験用に新たに作成される場合はフリーメールアドレス（@yahoo.co.jpや@gmail.com等）の取得を推奨します。

- ☐ プリンター※
- ☐ PDF表示・印刷ソフトウェア
- ☐ 本人写真（カラー写真データ）

※自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。詳しい使用方法是「出願ガイド」のSTEP1 事前準備 1.プリンター「印刷方法のご確認」を参照してください。

②「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「出願情報の登録」の「Web出願サイトはこちら」からWebサイトにアクセスし、「初めての方はこちら」からユーザー登録を行ってください。

※本学受験講習会で登録をしている方および、昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」のチェックを入れた方は再登録不要です。以前登録したメールアドレスとパスワードでログオンしてください。

③出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている出願に必要な書類を確認・準備してください。

STEP2

「出願ガイド」からWeb出願サイトにログオンし、出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイトはこちら」にアクセスし、STEP1で登録を行ったメールアドレスとパスワードでログオン後、「出願」から出願登録を行ってください。

（「出願ガイド」：<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>）

STEP3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で出願期間中に検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

①Web出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。

②本学ホームページ「入試案内(学部)」の「出願書類ダウンロード」から、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。提出前に必ず「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と共に提出してください。

(「出願書類ダウンロード」：<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>)

③レターパックライトを使用して、表面に①で印刷した宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。

レターパックライトはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口から出すことを推奨します。

郵送をもって出願完了となります。

STEP5

受験票の印刷

東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」*が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認し、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。

試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認のうえ、試験会場にお越しください。

受験票は、試験当日持参してください。

※メールが届かない場合は、Web出願サイトにログインし「受験票印刷」から印刷してください。

(2)出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A.Web出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B.出願書類ダウンロード

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>



	ダウンロードする出願書類		注意事項
[1]	志願票	p.11AのURLから印刷してください	検定料支払い手続き完了後に印刷してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
[2]	宛名ラベル		書類を郵送する際にレターパックに貼り付けて使用してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
[3]	曲目記入票	p.11BのURLから印刷してください	志望する専攻の様式より、該当するものを提出してください。 (1) 志望する専攻実技 (2) 第2志望の専攻実技 器楽専攻(ピアノ)、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)、器楽専攻(ピアノ・創作コース)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)受験者は「対面式」「非対面式」の様式より該当するものを提出してください。
[4]	大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙		一般選抜(A日程)受験該当者のみ 令和5年度大学入学共通テストまたは過年度の大学入試センター試験および大学入学共通テスト成績請求票「私立大学・公私立短期大学用」を所定欄に貼付してください。
[5]	出願書類チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
[6]	同意書		器楽専攻(ピアノ)、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)、器楽専攻(ピアノ・創作コース)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)「非対面式」受験者のみ提出してください。
[7]	学生寮入寮申込書		女子の希望者のみ提出してください。

[8] 演奏実技動画(「非対面式」受験者のみ)

動画提出期間：A日程 1月25日(水)～2月 1日(水)

(期間内必着) B日程 3月11日(土)～3月13日(月)

※演奏実技動画撮影上の注意・データ形式についてはp.14を参照のこと。提出方法についてはホームページ「入試案内(学部)」で確認してください。

[9] 調査書1通

- (1) 出身校において作成のもの。第2志望を受験する場合も1通とします。
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者は当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。
なお、日本語もしくは英語の証明書を提出してください。それ以外のものは、大使館、領事館、日本語学校等の公的機関が発行した日本語の翻訳と一緒に提出してください。発行した公的機関の公印がない翻訳は受け付けません。
- (3) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。
- (4) 高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定に合格した者を含む)は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。また、在学した高等学校等の成績証明書も添付してください。
- (5) 卒業後、5年以上の経過者または、廃校、被災その他の事情により高校から調査書が発行できない場合があります。この場合、卒業証明書、成績通信簿等を提出してください。

※一般選抜(A日程)受験者が一般選抜(B日程)を受験する場合は、再度調査書を提出してください。

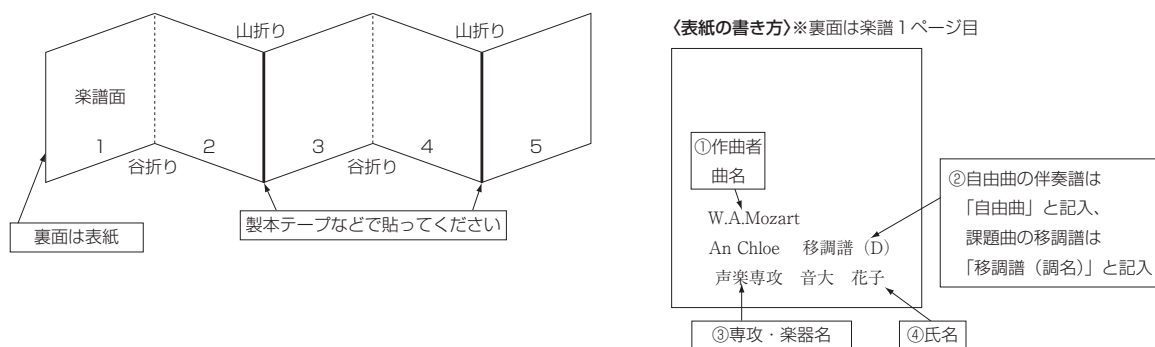
[10] 伴奏用楽譜(以下の①～④に該当する志願者)

以下の①～④に該当する場合のみ伴奏譜を出願書類と共に提出してください。第2志望も同様です。

- ①声楽専攻(声楽芸術)の自由曲
- ②声楽専攻課題曲表(p.31)の()内に記入してある調以外で受験する場合の移調譜
- ③器楽専攻(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)の自由曲
- ④ミュージック・リベラルアーツ専攻のうち、声楽(A)(B)課題、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの(B)課題
- ⑤音楽文化教育専攻(声楽)の自由曲

■提出する伴奏譜について

- ①楽譜はA4判縦を1ページとし、コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
- ②1曲ごとに表紙をつけ、表紙右下に①作曲者、曲名、②自由曲伴奏譜、移調譜の区別、③専攻・楽器名、④氏名を記入してください。
- ③2ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ等で貼ってください。
- ④課題で指定された省略(前奏、間奏、後奏)を書き込む場合は、赤インクのペン等でわかりやすく記入してください。それ以外の書き込みは不可とします。
- ⑤手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、黒インクのペン等で正しく丁寧に清書した譜面を提出してください(鉛筆書きは不可)。



[11] 創作曲楽譜 (ピアノ・創作コース志願者のみ)

■創作曲楽譜について

- ①楽譜は、鮮明な自筆（コピー可）、またはコンピュータ浄書とします。
- ②表紙に曲名、氏名を記入し、簡易に製本してください（ホッチキス止め可）。
- ③譜面各ページの右上に氏名を必ず記入してください。また、ページ番号を表記してください。

[12] 英語資格・検定試験証明書 (英語外部試験利用志願者のみ)

大学入学共通テストの「外国語」（専攻によっては「外国語」（英語））に代わるものとして、本学が行う試験（英語）の他、以下のいずれかの資格を利用できます。出願時に証明書の原本を1種類提出すること。
 評定は、文部科学省が公表したCEFRとの対照表に基づき、本学独自に換算します。

名称	スコア	備考
ケンブリッジ英語検定	120以上	・取得時期は問いません。 但し、各試験の実施団体が有効期限や公式証明書を再発行できる期限を定めている場合があります。 証明書の原本が手元にない場合はご注意ください。
実用英語技能検定	準2級以上	
GTEC(アセスメント版を除く)	690以上	
IELTS(Academic)	4以上	
TEAP	135以上	
TEAP CBT	235以上	
TOEFL iBT®	42以上	

※一般選抜（B日程）は調査書に基づいて外国語評定を行います（ミュージック・リベラルアーツ専攻を除く）

[13] 認定試験（楽典・聴音・新曲視唱）認定証のコピー

※本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、認定証のコピーを提出することにより当該科目の試験を免除します。

[14] 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書(外国人留学生のみ)

※外国人留学生で日本語能力試験N1またはN2に合格している場合は提出してください。

[15] 在留カードのコピーまたは住民票(日本国内在住の外国人のみ提出)

※在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくとも、必ず表・裏両面をA4サイズの下紙にコピーしてください。

※住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3ヵ月以内に発行されたものを提出してください。

[16] パスポートのコピー(日本国外在住の外国人のみ提出)

※氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズの下紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。

＜演奏実技動画撮影上の注意・データ形式について＞

対象者：器楽専攻(ピアノ)、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)、器楽専攻(ピアノ・創作コース)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)へ出願する者で「非対面式」を選択する者

撮影機材	スマートフォン、タブレット、パソコン、家庭用ビデオカメラ等、1台で撮影すること。 外付けマイク、照明の使用可。
撮影上の注意	1. 本学受験のために新たに撮影すること。 2. 譜面台、楽器で顔や手が隠れないよう撮影機材を三脚等で固定した上、1点から切れ目なく撮影すること。 3. 演奏以外の音が入らない環境で撮影のこと。演奏者のみの映像であること。 4. 氏名、お辞儀不要。 5. 演奏後10秒ほどしてから撮影を止めること。 ※録画と録音が別撮りされているもの、音の加工や置き換えなど編集されているものは一切認めない。 6. グランドピアノまたはアップライトピアノでの演奏に限る（電子ピアノ不可）。 7. 演奏者の顔(横顔)と手の動きがわかるように撮影すること。 8. 曲目記入票の順で演奏すること。自由曲が複数ある場合、自由曲の演奏順は任意。お辞儀は不要。 9. 全作品を通して演奏し、撮影を止めずに収録すること。曲間に撮影を中断したと判断される場合は減点の対象となる。 10. 暗譜の課題については、暗譜していることが明らかに分かるよう撮影すること（例：譜面を見ていないことが分かる角度から撮影する等）
動画の形式	動画共有サイト（YouTube）のみとします。 動画のタイトル：受験番号のみ記載してください。 ※提出後の動画の差替えはできません。 ※演奏実技動画の元データは試験が終了するまで各自で保存してください（YouTubeでの再生に問題が生じた場合、元データの提出を求めることがあります）。 ※動画は「限定公開」でアップロードし、合格発表まで削除しないこと。 ※YouTubeのURLはGoogle Classroomより提出すること。 ※提出方法、YouTubeへのアップロード方法は、本学ホームページ内「入試案内(学部)」に掲載の「演奏実技動画の撮影および提出方法について」および「YouTubeマニュアル」を参照してください。
曲目記入票への記入方法	＜演奏開始時間＞に動画上でそれぞれの曲を演奏し始めた時間を記入してください(複数楽章がある場合は楽章ごとに記入してください)。

5 入学検定料

〔1〕 入学検定料

一般選抜（A日程）	38,000円
一般選抜（B日程）	

〔2〕 納入方法・時期

出願期間内にWeb出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。

（注意）納入済みの入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

一般選抜（A日程）	2023年1月7日（土）～17日（火）
一般選抜（B日程）	2023年3月4日（土）～9日（木）

6 合格発表

合格発表は、大学ホームページ<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/goukaku/>で発表します。

電話による問い合わせには応じません。

合格者には、出願時に登録した住所に合格証および入学手続書類を郵送します。

上記の住所以外に送付を希望する場合は、入試課まで申し出てください。

※一般選抜（A日程）補欠者の発表について

一般選抜（A日程）合格発表と同時に補欠者を発表する場合があります。補欠者は合格者ではなく、入学手続者に欠員が生じた場合に限り、順次入学を許可します。入学を許可する場合には所定の期日までに、本学から志願者本人宛に電話および文書で通知します。

※成績開示について

入学試験を受験して志望専攻に不合格であった者から開示請求があった場合、下記のとおり行います。

①開示方法

本学が申請書を受理後、開示内容を記載した書面を受験者本人宛に特定記録郵便にて送付します。

②開示申請期間

A日程：2023年2月27日（月）～3月6日（月）必着

B日程：2023年3月23日（木）～3月30日（木）必着

③開示の請求方法

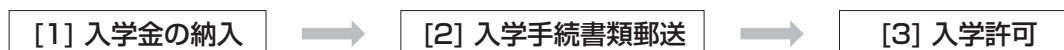
受験票、返信用封筒（返信先を明記し、244円切手を貼付した定型封筒）及び申請書*を同封の上、「入学試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により入試課へ送付してください。

*申請者には次の(1)から(3)の事項を記載してください（様式自由）。

(1) 氏名 (2) 受験番号 (3) 出願の専攻・コース・楽器

7 入学手続

入学手続の流れは以下のとおりです。



【1】 入学金の納入・期間

一般選抜（A 日程）	3月1日（水）～3月11日（土）に入学金を納入するとともに、下記書類を入試課へ簡易書留またはレターパックにて郵送してください。最終日の消印有効。 ※入学金の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。
一般選抜（B 日程）	3月24日（金）～3月28日（火）に入学金を納入するとともに、下記書類を入試課へ書留またはレターパックにて郵送してください。最終日の消印有効。 ※入学金の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

【2】 入学手続に必要な書類

- ①誓約書（本学所定の用紙）
 - ②住民票または住民票記載事項証明書
 - ③高等学校卒業証明書（高等学校卒業以外の者は資格証明書、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格証明書）
 - ④学生証用写真（カラー、サイズ縦4.5cm×横3.5cm）
 - ⑤その他本学が提出を指示したもの
- ※詳細は入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

【3】 入学許可

手続き完了の者には、入学許可書を交付します。

一般選抜（A 日程）に合格し、入学手続きを行った者が別の専攻・コースで一般選抜（B 日程）に合格した場合、一般選抜（A 日程）合格の辞退手続を行う必要はありません。

【4】 入学辞退

3月30日（木）11：30までに入試課に入学辞退を申し出てください。なお、納入済みの入学金はいかなる理由があっても返還しません。

手続方法の詳細は、入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

8 学費その他の納入金

〔1〕学費 (2022年度 参考)

学費等の納入については、4月以降、担当部署よりお知らせします。

◆声楽専攻、器楽専攻、作曲指揮専攻(作曲「芸術音楽コース」、指揮)、音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、吹奏楽アカデミー専攻 (単位:円)

納入方法	入学金(※1)	授業料	施設拡充費	施設維持費(※2)	合 計
春学期	300,000	743,500	390,000	135,000	1,568,500
秋学期	—	743,500	—	—	743,500

◆作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」

〈単位:円〉

納入方法	入学金(※1)	授業料	施設拡充費	施設維持費(※2)	合 計
春学期	300,000	788,500	390,000	135,000	1,613,500
秋学期	—	788,500	—	—	788,500

※1 付属高等学校からの1年次進学者 150,000円

※2 2年次より 145,000円

〔2〕学費以外の諸費用 (2022年度 参考)

〈単位:円〉

教職課程費(2年次)	卒業記念費(卒業時)	後援会費(毎年)／入会金(入学時)	校友会費(4年次)
100,000	10,000	10,000／10,000	20,000

学費に関する最新情報については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



9 教育充実協力金について

本学では、教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。

ご寄付は原則として任意でございますが、一口10万円で一口以上のご協力をよろしくお願いいたします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

10 奨学金制度・経済的支援制度

本学の奨学金・経済的支援制度については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



11 学生寮（女子）

自宅からの通学が困難（通学時間3時間以上を目安）な学生(女子)に対し、学生寮が設けられています。

【1】 申込方法

入寮希望者は、ホームページより「学生寮入寮申込書」をダウンロードし、出願書類に同封し郵送してください。

【2】 選考

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績・調査書類等を総合的に考慮のうえ大学が決定します。申込者多数の場合、入学試験に合格しても入寮許可にならない場合があります。

【3】 発表・手続

- ①入寮許可者の発表は、合格発表時に行います。
- ②入寮許可後に辞退する場合は、至急学生支援課へ電話でご連絡ください。
- ③入寮手続の詳細は、大学からの入寮許可通知とともにお送りする入寮手続書類をご参照ください。

【4】 施設・設備

- ①所 在 地 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-22-10（池袋キャンパス敷地内）
- ②収 容 定 員 124名（高校生20名を含む）
- ③建物の構造 地上5階
- ④寮 室 面 積 約8㎡
- ⑤寮 室 備 品 デスク、収納棚、ベッド、エアコン、冷蔵庫、※Wi-Fi完備
- ⑥付 帯 設 備 ラウンジ、浴室、洗面所、洗濯室、パソコン、コピー機

【5】 入寮費用

入寮金（入寮時のみ）	寮費
80,000円	78,000円（月払い・食費込） ※朝・夕2食（日・祝含む）

- ①寮費（月額）は、1年間にかかる総額の12等分となります。
- ②上記費用は、物価の高騰等により値上げする場合があります。

【6】 その他

- ①お盆及び年末年始の指定日は、閉寮となります。
- ②入寮申し込みの際には、必ず入寮案内で詳細を確認してください。
- ③不明な点は、学生支援課（TEL 03-6455-2756）までお問い合わせください。

Ⅱ 一般選抜（A日程）

- 1 専攻別試験科目・配点
- 2 併願について
- 3 入学試験

1 専攻別試験科目・配点

試験科目・調査書		外国語(大学入学共通テスト)	英語(大学入学共通テスト)	一般選抜(A日程)個別学力検査														備考
				英語	専攻別実技試験	小論文・口述試問	音楽基礎	面接・口述試問	副科実技(ピアノ)	コルユープンゲン	新曲視唱(注6)	簡単な初見演奏	聴音(三声体和音・旋律)(注6)	聴音(四声体和音・旋律)(注6)	楽典(注6)	創作	面接	
専攻・コース名		配点	50点(注1)	100点(注2)	(注3)	各100点				各50点						A・B・C(3段階)	100点	
声楽 (注5)	声楽芸術	選択		選択	○				○	○	選択		選択		○			聴音・新曲視唱より1科目選択
	ピアノ、ピアノ演奏家コース	選択		選択	○						○			○	○			
	ピアノ・創作コース	選択		選択	○						○			○	○	○		専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題
	チェンバロ	選択		選択	○						○			○	○			
	オルガン	選択		選択	○				○		○			○	○			
	弦・管・打楽器	選択		選択	○				○		○		○		○			
	作曲「芸術音楽コース」	選択		選択	○				○		○			○	○			専攻実技試験に面接を含む
器楽 (注5)	作曲「ミュージック・メディアコース」	選択		選択	○						○		○		○			専攻実技試験に小論文、面接を含む
	指揮	選択		選択	○				○		○			○	○			専攻実技試験に小論文、面接を含む
	指揮	選択		選択	○				○		○			○	○			専攻実技試験に小論文、面接を含む
音楽文化教育(注4)				選択	選択	○	○											
ミュージック・リベラルアーツ				選択	選択	○											○	
吹奏楽アカデミー		選択		選択	○			○	選択(注5)	選択(注5)	選択(注5)	選択(注5)			○			

(注1) 大学入学共通テスト「外国語」(「英語」を選択する場合は筆記およびリスニング)または本学が行う英語試験のいずれかを受験するか、以下のいずれかの資格を有する者は、出願時に証明書の原本を1種類提出すること。

ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定試験、GTEC(アセスメント版を除く)、IELTS(Academic)、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT®

(注2) 大学入学共通テスト「英語」(筆記、リスニング)、本学が行う英語試験のいずれかを受験するか、以下のいずれかの資格を有する者は、出願時に証明書の原本を1種類提出すること。ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定試験、GTEC(アセスメント版を除く)、IELTS(Academic)、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT®

(注3) 配点100点:音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、配点50点:その他の専攻

(注4) ◆音楽基礎:高等学校芸術科「音楽I」の教科書の内容相当の音楽能力の考查(楽典、聴き取り、読譜、視唱を含む)

◆小論文・口述試問:口述試問は任意の音楽実技を含む。ピアノを選択しなかった場合は「基礎ピアノ」(自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない)を課す。

(注5) 1科目選択

(注6) 今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

●大学入学共通テストへの出願手続が必要です。

出願期間:2022年9月26日(月)~10月6日(木)

過年度の大学入試センター試験および大学入学共通テスト成績の利用について

令和2年度の大学入試センター試験成績および令和3年度、令和4年度の大学入学共通テスト成績を2023年度東京音楽大学一般選抜の「外国語」に利用する者は、過年度成績請求票を提出して下さい。申請方法等は「令和5年度 大学入学共通テスト 受験案内」または大学入試センターホームページで確認してください。

2 併願について

[併願ができる専攻・コース]

第1志望のほか、特に希望する者は第2志望としてその他の専攻を併願できます。ただし、専攻によって、第2志望として受験できない組み合わせがありますので、以下の表で確認してください。

出願後は第1志望、第2志望とも専攻等の変更は認めません。また、試験当日、第1志望の試験科目を受験せずに、第2志望のみを受験することはできません。

○：併願可 ×：併願不可 ◆：〈注意事項〉参照

	志望区分		第 2 志 望														
		専攻	声楽	器 楽						作曲指揮			音楽文化教育	ミュージック・リベラルアーツ	吹奏楽アカデミー		
			声 楽 芸 楽	ピ ア ノ	ピ ア ノ 演 奏 家 コ ー ス	ピ ア ノ ・ 創 作 コ ー ス	チェンバロ	オルガン	弦楽器	管打楽器	作曲「芸術音楽コース」	作曲「ミュージック・メディアコース」	指揮				
第 1 志 望	専 攻	声 楽	声楽芸術		○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
		器 楽	ピアノ	○		×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
		ピアノ演奏家コース	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		ピアノ・創作コース	○	○	×		○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
		チェンバロ	○	○	×	○		○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
		オルガン	○	○	×	○	○		○	○	○	×	○	○	○	×	×
		弦楽器	○	○	×	○	○	○		○	○	×	○	○	○	×	◆
		管打楽器	○	○	×	○	○	○	○		○	×	○	○	○	×	×
	作 曲 指 揮	作曲「芸術音楽コース」	○	○	×	○	○	○	○	○		×	○	○	○	×	×
		作曲「ミュージック・メディアコース」	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×
		指揮	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×		○	×	×
		音楽文化教育	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○		×	×
		ミュージック・リベラルアーツ	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×		×
		吹奏楽アカデミー	×	×	×	×	×	×	◆	×	×	×	×	×	×	×	

◆ 器楽専攻 弦楽器（コントラバス、ハープ）と吹奏楽アカデミー専攻（コントラバス、ハープ）は併願可能。
この場合、どちらが第一志望でも、器楽専攻と吹奏楽アカデミー専攻両方の実技試験を受けること。

〈注意事項〉

器楽専攻の他コース、他楽器合格について

- (1) ピアノ演奏家コースとピアノは併願できませんが、ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合があります。
- (2) 弦楽器内での併願はできませんが、ヴァイオリンの受験結果により、ヴィオラに合格となる場合があります。

■併願の試験科目について

第1志望	第2志望	第2志望専攻に必要な試験科目
声楽芸術	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(4声和声聴音・旋律聴音)と新曲視唱の2科目
	弦・管打楽器	第2志望実技、聴音(3声 and 音聴音・旋律聴音)と新曲視唱の2科目
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
ピアノ	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン
	ピアノ・創作コース	創作
	チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、副科実技(ピアノ)(第2志望がチェンバロ以外の者) ^{※2}
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
ピアノ・創作コース	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン、副科実技(ピアノ) ^{※2}
	ピアノ	ピアノ実技試験は器楽専攻(ピアノ)の課題
	チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、副科実技(ピアノ)(第2志望がチェンバロ以外の者) ^{※2}
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
チェンバロ	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン、副科実技(ピアノ)
	ピアノ、ピアノ創作コース、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、副科実技(ピアノ)(第2志望がピアノ、ピアノ創作コース以外の者)
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
オルガン	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技 ※3
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
弦楽器	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(4声 and 声聴音・旋律聴音) ※4
	管打楽器	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
	吹奏楽アカデミー専攻(コントラバス、ハープ)	第2志望実技、面接および口述試験
管打楽器	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(4声 and 声聴音・旋律聴音) ※4
	弦楽器	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
作曲「芸術音楽コース」	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、指揮	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
指揮	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{※1}
音楽文化教育	声楽芸術	第2志望実技、コールユーブンゲン、副科実技(ピアノ)、聴音(3声 and 音聴音・旋律聴音)・新曲視唱(選択)、楽典
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(4声 and 声聴音・旋律聴音)、楽典、新曲視唱、副科実技(ピアノ)(第2志望がピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ以外の者)
	弦・管打楽器	第2志望実技、聴音(3声 and 音聴音・旋律聴音)、副科実技(ピアノ)、新曲視唱、楽典
ミュージック・リベラルアーツ *第2志望の実技課題を受験	声楽芸術	第2志望実技*、コールユーブンゲン、副科実技(ピアノ)、聴音(3声 and 音聴音・旋律聴音)・新曲視唱(選択)、楽典
	ピアノ、ピアノ演奏家コース、チェンバロ、オルガン	第2志望実技*、聴音(4声 and 声聴音・旋律聴音)、新曲視唱、楽典
	弦・管打楽器	第2志望実技*、聴音(3声 and 音聴音・旋律聴音)、副科実技(ピアノ)、新曲視唱、楽典
吹奏楽アカデミー	弦楽器(コントラバス・ハープ)	第2志望実技、新曲視唱、聴音(3声 and 音聴音・旋律聴音)、副科実技(ピアノ)

※1 任意の音楽実技(5分程度)と視唱を含む。鍵盤楽器以外を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。

※2 副科実技(ピアノ)は、ピアノ実技試験の成績を50点満点に換算したもので評価します。

※3 作曲「芸術音楽コース」または指揮を第2志望とする場合の副科実技(ピアノ)は、第2志望の課題で受験すること。

※4 オルガン、作曲「芸術音楽コース」または指揮を第2志望とする場合の副科実技(ピアノ)は、第2志望の課題で受験すること。

3 入学試験

〔1〕 試験期間

共通科目試験（楽典、聴音、新曲視唱、コールユーブンゲン、英語）は2月16日（木）、副科実技（ピアノ）は2月17日（金）～2月19日（日）に実施します。

■ 2023年度試験日程（予定）

専攻・コース・楽器	試験日				
	2月16日(木)	2月17日(金)	2月18日(土)	2月19日(日)	2月20日(月)
声楽専攻		○	○		
ピアノ、ピアノ演奏家コース		○	○	○	
ピアノ・創作コース		○	○	○	
チェンバロ					○
オルガン				○	
弦楽器				○	○
木管楽器		○ (Ob. Cl. Fg.)			○ (Fl. Sax.)
金管楽器			○ (Hr.)		○ (Tp. Tb. Tu. Eu.)
打楽器		○			
作曲「芸術音楽コース」			○	○	
作曲「ミュージック・メディアコース」		○	○		
指揮				○	○
音楽文化教育専攻	○				○
ミュージック・リベラルアーツ専攻 (実技試験は他専攻の実技試験と同日に実施)	○				
吹奏楽アカデミー専攻			○		

- ➡専攻別実技試験は、各専攻の志願者数によって試験会場・時間を決定します。
- ➡器楽専攻（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）志願者は、入学試験期間中に伴奏合わせを行います。
日程の詳細は、下記の試験時間詳細と同時に発表します。

〔2〕 試験場

- ・東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒1-9-1）
- ・東京音楽大学 池袋キャンパス（東京都豊島区南池袋3-4-5）

【3】 練習室について

入試期間中、受験者はキャンパスの練習室を**無料**で利用することができます。
詳細は、メール送付するお知らせを参照してください。

利用可能期間
2月16日（木）～20日（月）

①個人練習室

- ・ 予約制
- ・ 1回連続1時間まで（練習後の更新可）

②その他の練習室

- ・ 予約不要
- ・ 室内のピアノ使用不可

*** 各自の専攻実技試験終了後は使用できません。**

【4】 試験当日に持参するもの

①東京音楽大学一般選抜（A日程）受験票

②筆記用具

③必要な楽器、スタンド等

※コントラバス、ハープ、チューバ、ティンパニ、鍵盤打楽器以外の貸出しはしません。

④昼食（学生レストランは、新型コロナウイルス感染状況により営業しない可能性があります。ご了承ください。）

⑤楽譜

⑥時計

※辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。

※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は使用できません。

参 考：入試期間中の宿泊について

大学近郊の学生会館（有料）を利用できます。体験入寮のため、特別料金で連泊可能です。

（株）共立メンテナンス 学生会館事務局

Tel. 0120-88-1030

受付時間 9：00～17：30（土日・祝日を除く）

お電話の際、東京音楽大学の受験者であることをお伝えください。

* 宿泊施設には防音設備のついた練習室はありません。

* 部屋数には限りがあるため、空室のある寮へのご案内になります。詳しくはお電話で確認の上、各自お申し込みください。

* 宿泊施設での事故等の責任は大学では負いかねます。

Ⅲ 一般選抜（B日程）

- 1 専攻別試験科目・配点
- 2 併願について
- 3 入学試験

1 専攻別試験科目・配点

試験科目・調査書		外国語（調査書）	英語（調査書）	一般選抜（B日程）個別学力検査												備考
				英語	専攻別実技試験	小論文・口述試験	面接・口述試験	副科実技（ピアノ）	コールユーブンゲン	新曲視唱（注5）	簡単な初見演奏	聴音（三声体和音・旋律）（注5）	聴音（四声体和声・旋律）（注5）	楽典（注5）	創作	
専攻・コース名	配点	50点（注1）	100点（注2）	100点（注3）	各100点			各50点						ABC（3段階）	100点	
声楽	声楽芸術	○			○			○	○	選択		選択		○		聴音・新曲視唱より1科目選択
器楽	ピアノ・ピアノ演奏家コース	○			○					○			○	○		
	ピアノ・創作コース	○			○					○			○	○	○	専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題
	チェンバロ	○			○					○			○	○		
	オルガン	○			○			○		○			○	○		
	弦・管・打楽器	○			○			○		○		○		○		
作曲指揮	作曲「芸術音楽コース」	○			○			○		○			○	○		専攻実技試験に面接を含む
音楽文化教育			○			○										
ミュージック・リベラルアーツ				○	○										○	
吹奏楽アカデミー		○			○		○	選択（注4）		選択（注4）	選択（注4）	選択（注4）		○		

（注1）調査書3年間の外国語評定平均値を50点に換算します。

（注2）調査書3年間の外国語評定平均値を100点に換算します。

（注3）本学が行う英語試験を受験するか、以下のいずれかの資格を有する者は、出願時に証明書の原本を1種類提出すること。

ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定試験、GTEC（アセスメント版を除く）、IELTS(Academic)、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT®

（注4）1科目選択

（注5）今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

■入学試験科目は上記1専攻別試験科目・配点を参照のこと。

■一般選抜（A日程）を受験した者は、受験者の選択により音楽基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科実技（ピアノ）、コールユーブンゲン）の受験が免除されます。一般選抜（B日程）の出願の際に、該当項目にチェックしてください。受験免除の場合、一般選抜（A日程）の成績を一般選抜（B日程）の成績とし、それ以外の試験科目を受験することになります。

（音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻は、音楽基礎能力検査を課さないため、適用外）

2 併願について

[併願ができる専攻・コース]

出願後は専攻等の変更は認めません。また、試験当日、第1志望の試験科目を受験せずに、第2志望のみを受験することはできません。

○：併願可 ×：併願不可 ◆：〈注意事項〉参照

志望区分	志望区分		第2志望										
	専攻	専攻	声楽	器 楽						作曲指揮	音楽文化教育	ミュージック・リベラルアーツ	吹奏楽アカデミー
			声楽芸術	ピアノ	ピアノ演奏家コース	ピアノ・創作コース	チェンバロ	オルガン	弦楽器	管打楽器	作曲「芸術音楽コース」		
第1志望	声楽	声楽芸術		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	器 楽	ピアノ	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×
		ピアノ演奏家コース	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×
		ピアノ・創作コース	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
		チェンバロ	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×
		オルガン	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×
		弦楽器	×	×	×	×	×	×		×	×	×	◆
		管打楽器	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×
	作曲指揮	作曲「芸術音楽コース」	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×
	音楽文化教育		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	ミュージック・リベラルアーツ		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	吹奏楽アカデミー		×	×	×	×	×	×	◆	×	×	×	×

◆器楽専攻 弦楽器（コントラバス、ハープ）と吹奏楽アカデミー専攻（コントラバス、ハープ）は併願可能。
この場合、どちらが第一志望でも、器楽専攻と吹奏楽アカデミー専攻両方の実技試験を受けること。

〈注意事項〉

器楽専攻の他コース、他楽器合格について

- (1) ピアノ演奏家コースとピアノは併願できませんが、ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合があります。
- (2) 弦楽器内での併願はできませんが、ヴァイオリンの受験結果により、ヴィオラに合格となる場合があります。

3 入学試験

〔1〕 試験期間

■ 2023年度試験日程（予定）

3月19日（日）	専攻別実技試験、ミュージック・リベラルアーツ専攻面接、 楽典、聴音、新曲視唱、コールユーブンゲン、副科実技（ピアノ）
3月20日（月）	専攻別実技試験

- ➡ 専攻別実技試験は、各専攻の志願者数によって試験会場・時間を決定します。
- ➡ 器楽専攻（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）志願者は、入学試験期間中に伴奏合わせを行います。
日程の詳細は、下記の試験時間詳細と同時に発表します。
- ➡ 作曲「芸術音楽コース」（B日程）の試験は3月18日（土）～20日（月）に実施します。

〔2〕 試験場

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒1-9-1）
東京音楽大学 池袋キャンパス（東京都豊島区南池袋3-4-5）

〔3〕 練習室について

入試期間中、受験者はキャンパスの練習室を**無料**で利用することができます。
詳細は、メール送付するお知らせを参照してください。

利用可能期間

3月19日（日）・3月20日（月）

① 個人練習室

- ・ 予約制
- ・ 1回連続1時間まで（終了後の更新可）

② その他の練習室

- ・ 予約不要
- ・ 室内のピアノ使用不可

*** 各自の専攻実技試験終了後は使用できません。**

〔4〕 試験当日に持参するもの

- ① 東京音楽大学一般選抜（B日程）受験票
- ② 筆記用具
- ③ 必要な楽器、スタンド等
※ コントラバス、ハープ、チューバ、ティンパニ、鍵盤打楽器以外の貸出しはしません。
- ④ 昼食（学生レストランは、新型コロナウイルス感染状況により営業しない可能性があります。ご了承ください。）
- ⑤ 楽譜
- ⑥ 時計
※ 辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。
※ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は使用できません。

参 考：入試期間中の宿泊について

大学近郊の学生会館（有料）を利用できます。体験入寮のため、特別料金で連泊可能です。

（株）共立メンテナンス 学生会館事務局

TEL 0120-88-1030

受付時間 9:00～17:30（土日・祝日を除く）

お電話の際、東京音楽大学の受験者であることをお伝えください。

- * 宿泊施設には防音設備のついた練習室はありません。
- * 部屋数には限りがあるため、空室のある寮へのご案内になります。詳しくはお電話で確認の上、各自お申し込みください。
- * 宿泊施設での事故等の責任は大学では負いかねます。

Ⅳ 入学試験科目

- 1 声楽専攻
- 2 器楽専攻
- 3 作曲指揮専攻
- 4 音楽文化教育専攻
- 5 ミュージック・リベラルアーツ専攻
- 6 吹奏楽アカデミー専攻

1 声楽専攻

声楽芸術

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜（A日程）】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

【一般選抜（B日程）】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽 典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱・聴音より1科目選択

- (1) 新曲視唱：8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

- (2) 聴音：旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和音聴音・・・・・・高音部譜表による三和音、4小節程度

【問題例】 a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4小節



※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

4. コールユーブンゲン

原書番号No.48～51、56～59の中から当日1曲指定する（『全訳コールユーブンゲン』大阪開成館）。

移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

試験室においてピアノによりカデンツァおよび開始音が与えられる。

5. 副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること

- (1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノンNo.39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノンNo.39の場合は、速度はJ=76程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72程度以上とする。

- (2) 自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度を1曲または1楽章。

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

6. 専攻実技

課題曲

- (1) 課題曲：次の課題曲表から3曲を選ぶこと。その中から当日1曲指定する。

※ 歌詞は原語で、暗譜で歌うこと。

※ 伴奏者は大学が用意する。

※ 演奏の途中で打ち切ることがある。

※ () 内のアルファベットは調性を表す。これら以外の調で歌う場合は移調譜を出願書類と共に提出すること。

曲 名	作 曲 者
① Già il sole dal Gange (B, As, G)	A. Scarlatti
② Se tu della mia morte (g, f, e)	A. Scarlatti
③ Sento nel core (g, f, es)	A. Scarlatti
④ Lasciar d' amarti (g, f, d)	F. Gasparini
⑤ Star vicino (A, B, G)	L. Mancia (伝 S.Rosa)
⑥ Sebben, crudele (e, d, c)	A. Caldara
⑦ Vergin, tutto amor (d, c, h)	F. Durante
⑧ Nina (g, fis, e, d)	作曲者不詳
⑨ Nel cor più non mi sento (F, G)	G. Paisiello
⑩ Sogno (B, As, Ges)	F. Tosti
⑪ An Chloe (Es, C)	W. A. Mozart
⑫ Ich liebe dich (G, F)	L. v. Beethoven
⑬ An die Musik (D, C, B)	F. Schubert
⑭ Geheimes (As, F, Es, D)	F. Schubert
⑮ Lachen und Weinen (As, F, E)	F. Schubert
⑯ Die Lotosblume (F, Es, Des)	R. Schumann
⑰ Widmung (As, Ges, F)	R. Schumann
⑱ Dein blaues Auge (Es, D)	J. Brahms
⑲ Sonntag (G, F, Es)	J. Brahms
⑳ Zueignung (C, A, G)	R. Strauss
㉑ 秋の月 [山田耕筰 編曲] (h)	滝 廉太郎
㉒ 荒城の月 [山田耕筰 編曲] (1,2 番) (d, c)	滝 廉太郎
㉓ 母 (As, G, F)	小松 耕輔
㉔ この道 (1,2 番) (E, D)	山田 耕筰
㉕ 北秋の『沙羅』より (D, Des)	信時 潔
㉖ 行々子『沙羅』より (Fis, F)	信時 潔
㉗ 浜千鳥 (Es, C)	弘田 龍太郎
㉘ 浜辺の歌 (1,2 番) (As, F)	成田 為三
㉙ ゆりかご (E, D)	平井 康三郎
㉚ むこうむこう (F)	中田 喜直

- (2) 自由曲：1曲（4分以内）。ただし、(1) の課題曲表以外の曲目とする。

※ 日本歌曲、ミュージカルナンバー可*。

※ オペラ・アリアは原調で歌うこと。

※ 伴奏譜を出願書類と共に提出すること（前奏、間奏、後奏のカット可。その他の部分のカットが記載されている場合は、本学で確認し、内容によっては訂正を求めることがある）。

*ミュージカルナンバーについて

- ・訳詞による歌唱可。言語は限定しない。
- ・マイクの使用不可。
- ・伴奏譜は出版譜に限る。

2 器楽専攻

鍵盤楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜（A日程）】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

【一般選抜（B日程）】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴音 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和音聴音・・・大譜表による四声（密集）、8小節程度

〔問題例〕 G dur ト長調 $\frac{2}{2}$ 拍子 8小節



※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

5. 副科実技（ピアノ）※オルガン志願者のみ

※すべて暗譜で演奏すること

（1）音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノンNo.39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノンNo.39の場合は、速度は♩＝76程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符＝72程度以上とする。

（2）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

6. 専攻実技

【ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース対象】

「対面式」と「非対面式（実技の動画審査）」から選択することが可能です。

非対面式を選択する場合、パソコン・スマートフォン・タブレットいずれかの機器が必要です。

※パソコンの場合は、カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。

※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。

課題曲

■ピアノ

➡ 暗譜で演奏すること。

次のa課題またはb課題を選択すること。

a課題

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の2曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）

（イ）モシュコフスキー Op.72

（ロ）クレメンティ

（ハ）チェルニー Op.740（50番練習曲）

（ニ）モシェレス

（ホ）ショパン Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）

（3）自由曲（5分以上8分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b課題

自由曲（12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別
曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

■ピアノ演奏家コース

➡ 暗譜で演奏すること。

次のa課題またはb課題を選択すること。

a課題

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

(2) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25 より任意の2曲 (Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く)

(3) 次の①または②を選択すること。

① 次の(イ)～(ト)の練習曲集より任意の1曲

(イ) リスト

(ロ) ドビュッシー

(ハ) スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65

(ニ) ラフマニノフ Op.33、Op.39

(ホ) プロコフィエフ Op.2

(ヘ) バルトーク Op.18

(ト) リゲティ

② ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の楽章を1つ

(4) 自由曲 (12分以上15分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲 (25分以上30分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※器楽専攻 (ピアノ演奏家コース) の受験結果により、器楽専攻 (ピアノ) に合格となる場合がある。

■ピアノ・創作コース

(1) ピアノ実技 次の a 課題 または b 課題 を選択すること。

➡ 暗譜で演奏すること。

a 課題

① J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲を選択し、プレリュードまたはフーガのどちらかを演奏する。

② 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の1曲

(イ) モシュコフスキー Op.72

(ロ) クレメンティ

(ハ) チェルニー Op.740 (50番練習曲)

(ニ) モシェレス

(ホ) ショパン Op.10、Op.25 (Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く)

③ 自由曲 (5分以上8分程度。複数曲可)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲 (12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

(2) 創作

自作の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

■チェンバロ

(1) J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』(第1巻、第2巻)から、任意のプレリュードとフーガを1曲

(2) D.スカルラッティの任意のソナタを1曲

(3) 通奏低音

『クラヴィス』(現代ギター社刊)のp.80-84の練習1～10のうちから、当日指定されたものを、右手用のガイドなしで演奏する。

※いずれも暗譜の必要なし。

※楽器はフレンチ・モデル二段鍵盤チェンバロ(音域FF～f3、8'8"4、a1=415)

■オルガン

(1) J.S.バッハ『オルガン小曲集』(Orgelbüchlein BWV 599-644) から任意の5曲

(2) 任意のオルガン曲1曲(コラール編曲以外の作品とする)

※暗譜の必要なし。

※アシスタントの要、不要を専攻別曲目記入票に記入すること。

※試験日以前に、レジストレーションのための若干の練習時間を与える。

弦・管・打楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜（A日程）】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

【一般選抜（B日程）】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽 典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴 音 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和音聴音・・・高音部譜表による三和音、4小節程度

【問題例】 a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4小節



※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

5. 副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること

（1）音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノンNo.39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノンNo.39の場合は、速度は♩＝76程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符＝72程度以上とする。

（2）自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度を1曲または1楽章。

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

課題曲

弦楽器

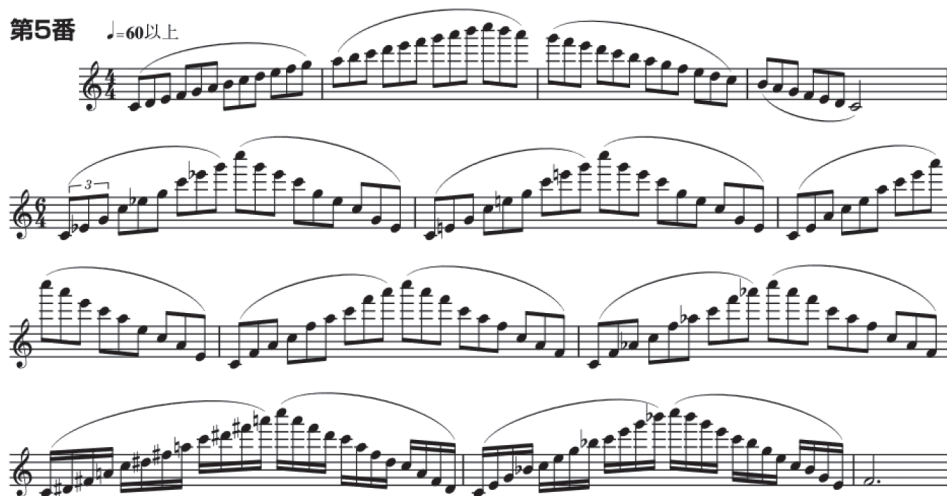
■ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8番を演奏する。運指の指定なし。

- ① 第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。♩=60以上（スラーは下記のC-durに準ずる）
- ② 第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。♪=60以上（スラーは16分音符4個以上とする。1小節2弓でも可。下記の第6番参照）

第5番 ♩=60以上



第6番 ♩=60以上



(2) 練習曲

P. Rode、J. Dont (Op.35)、N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の1曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の1曲

(3) 任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァを含む）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

※演奏によりヴィオラに適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

■ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale systemより、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

- ① 第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。♩=60以上（スラーとリズムはp.37の譜例に準ずる）
- ② 第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。♩=60以上（スラーは16分音符4個以上とする）

(2) B. Campagnoli : 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41のカプリース』) から任意の1曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の1曲

(3) 次の(イ)～(ハ)より任意の1曲

- (イ) Johann Christian Bach : 協奏曲ハ短調より 第1楽章
- (ロ) Carl Stamitz : ヴィオラ協奏曲ニ長調作品1より 第1楽章（カデンツァを含む）
- (ハ) Franz Hoffmeister : ヴィオラ協奏曲ニ長調より 第1楽章（カデンツァを含む）
- (ニ) 上記の(イ)～(ハ)と同程度もしくはそれ以上の曲から1曲（版の指定なし）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

■チェロ

(1) 音階

任意の長調、短調を4オクターヴ（4音を1弓で演奏すること）

(2) 練習曲

次の(イ)～(ハ)より任意の1曲

- (イ) D. Popper : Hohe Schule des Violoncellspiels, Op.73（ポッパー：40の練習曲）
- (ロ) J. L. Duport : 21 études（デュポール：21の練習曲）
- (ハ) A. Schroeder : 170 foundation studies for violoncello, 2（シュレーダー：170の基礎練習第2巻）

(3) 任意のチェロ協奏曲より第1楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) 下記のいずれかを選択すること。

(イ) 任意のソナタより第1楽章と第2楽章

(ロ) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

■ハープ

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op.92より任意の第1楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタまたは同程度の難易度の作品) 1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

■クラシックギター

(1) F. Sor またはH. Villa-Lobos の練習曲より任意の1曲

(2) 自由曲1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

課題曲

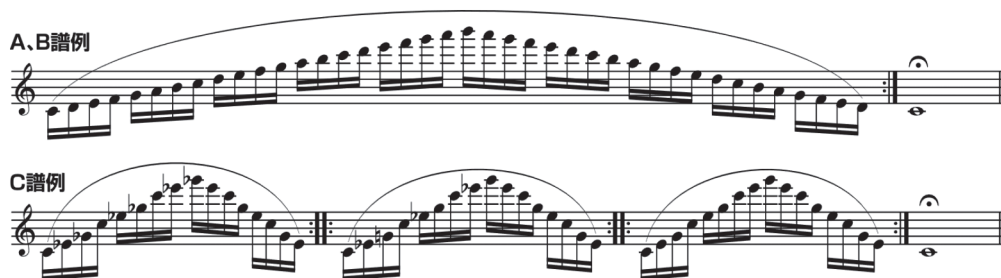
木管楽器

■フルート

(1) 音階および分散和音

M. Moyse : Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』) より 長音階 (A)、短音階 (B)、分散三和音 (C) を演奏する。

♩ = 60 (譜例参照)



(2) J. Andersen : 24 Studies for flute, Op.21 (J. アンデルセン『24のエチュード 作品21』) より No.4, No.11

(3) W.A. Mozart フルート協奏曲 第2番 二長調 K.314より第1楽章 (カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。演奏箇所は当日指定する。

※(3)の伴奏者は大学が用意する (楽譜の提出不要)。前奏はSoloの4小節前より始める。

■オーボエ

(1) 音 階

次のA、Bいずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op.31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) Nos.5-10の中から、当日指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

(1) 音 階

R. Eichler : Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は当日指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini : 30 Capricci(Ricordi)よりNos.16,19,22の3曲。演奏箇所は当日指定する。

(3) C.M.v. ウェーバー : クラリネット小協奏曲 変ホ長調 作品26 (カデンツァは演奏しない)。

前奏は Solo の3小節前より

※伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。

■ファゴット

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2のNos.1-15より、当日2曲指定する。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2のNos.22-43より任意の1曲

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

■サクソフォーン

➡アルト・サクソフォーンで演奏すること。

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から、当日指定する。暗譜。繰り返しなし。



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォンのための48の練習曲』[M.ミュールによる増補改訂版](A.Leduc))より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

(3) 自由曲1曲(編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

課題曲

金管楽器

共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は当日指定する。



■ホルン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447より第1楽章（カデンツァなし）

※(2) は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

■トランペット

(1) 分散和音

以下の音型を実音B-durで開始し、順次E-durまで下がること。暗譜。



(2) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(3) J. B. Arban : Fantaisie Brillante (華麗なる幻想曲)より主題と変奏曲Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

Arban's Complete Conservatory Method 所収

※(3) は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。序奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No.3 (ISR Collection, 全音楽譜)

■トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) よりNo.8

(3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜)よりNo.15、No.40

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■バス・トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer) よりNos.5、23、25

※暗譜の必要なし。

■チューバ

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) G. Kopprasch : 60 Selected Studies (R. King Music) Nos.12、14、16、20、22

M. Bordogni : 43 bel canto studies (R. King Music) Nos.1、4、7、12、14

以上の中から、当日指定する。いずれも途中でカットする場合がある。

(3) J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)

※暗譜の必要なし。伴奏なし。

■ユーフォニアム

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は当日指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone のNos.3、4、5より、当日指定する。

(3) J. B. Arban : Variations on a Song "Vois-tu la neige qui brille" (The Beautiful Snow) (「輝く雪」の歌による変奏曲) Arban's Complete Conservatory Method 所収

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。版の指定なし。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。前奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』 No. 5 (ISR Collection, 全音楽譜)

課題曲

打楽器

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。

■ティンパニ

- (1) ロール $pp \text{ — } ff \text{ — } pp$ Es(変ホ) (30秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) のNos.19、26、39、40、43、44 より、当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) 小太鼓による2つ打ち（響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと）
- (5) マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■小太鼓

- (1) 2つ打ち、ロール $pp \text{ — } ff \text{ — } pp$ (30秒以上)（響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと）
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm のNos.1、4、12、13、31より、当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■マリンバ

- (1) 3オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の39 EtudesよりXV (15番)。
- (3) 自由曲（伴奏なし）
- (4) 簡単な初見演奏
- (5) 小太鼓による2つ打ち（響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと）

3 作曲指揮専攻

作曲「芸術音楽コース」

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜（A日程）】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※
※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ ケンブリッジ英語検定
- ・ 実用英語技能検定
- ・ GTEC(アセスメント版を除く)
- ・ IELTS(Academic)
- ・ TEAP
- ・ TEAP CBT
- ・ TOEFL iBT®

【一般選抜（B日程）】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽 典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴 音 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和声聴音・・・大譜表による四声（密集）、8小節程度

[問題例] G dur ト長調 $\frac{2}{2}$ 拍子 8小節



※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

5. 副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること

（1）音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノンNo.39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノンNo.39の場合は、速度は♩＝76程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符＝72程度以上とする。

（2）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

（3）自由曲1曲（自作品は不可）

※（2）（3）計2曲で10分以内。暗譜。

6. 専攻実技

- （1）和 声 （イ）転調および非和声音を含むバス課題（2時間）
 （ロ）転調および非和声音を含むソプラノ課題（2時間）
- （2）作 曲 与えられた動機による楽曲の創作（5時間）
- （3）面 接 10分程度（作曲を志した動機等について質問します）

作曲「ミュージック・メディアコース」

※一般選抜（B日程）では、募集しません。

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

以下より1つ選択する。

（1）大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）

（2）本学が行う試験（英語）

（3）資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

2. 楽 典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴 音 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和声聴音・・・高音部譜表による三和音、4小節程度

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

5. 専攻課題

（1）伴奏付け（譜面作成とそのピアノ演奏）

① 与えられた旋律に対して「伴奏／コード付け」を行う。

（1時間。譜面作成時、備え付けのキーボード使用可）

② ①で「伴奏／コード付け」した結果を、面接時にピアノで演奏する。

（2）和 声（2時間）

① 転調を含むバス課題。

② 簡単な転調および非和声音を含むソプラノ課題。

※①バス課題から着手のこと。試験開始後1時間で①の答案を回収する。

（3）小論文（1時間）

当日出題される課題について、簡単な文章を書く。

（4）ピアノ演奏

自由曲または自作曲のピアノ演奏。楽曲の選択は、クラシック、ポピュラー等ジャンルを問わない（ピアノ独奏のみ。伴奏用音源等は使用不可）。

（注1 参照のこと）

(5) 面接

作曲に対する意識、今後、作曲家となるべく努力する姿勢、意識を問う。特別な音楽的能力を有する者は、面接でアピールすることができる（注2参照のこと）。

(6) 自作曲の評価

自作曲のデモ音源、楽譜（スコア等）を持参し、面接時にアピールすること（注3参照のこと）。

注1 ピアノ演奏について

- ①基本的なピアノ演奏能力を知ることが目的であるため、注意して楽曲を選ぶこと。
曲名、作曲者名は、専攻別曲目記入票に詳しく正確に記入すること。
- ②自作曲のピアノ演奏を行う場合は、(6) 自作曲の評価で提出する曲とは異なる作品にすること。

注2 面接について

アピールしたい受験者は、楽器演奏や音楽制作に携わった作品の映像（動画ファイル）を面接時に提出すること（ライブ、コンサート等の映像も可とする）。

複数曲の提出を可とするが、各映像の長さは5分未満とする。

また、映像内で受験者本人を確認（本人の姿やクレジット表記）できるものとする。

動画ファイルの拡張子はmovまたはmp4のいずれかとし、USBメモリに保存して面接当日に持参すること。

《当日の楽器演奏を希望する場合》

ギター、ベース、ヴァイオリン、フルート等の楽器演奏を面接時に希望する場合は、楽器を持参すること。ギターアンプ、ベースアンプは備え付けのものを使用する。演奏を希望する楽器名、楽曲名は曲目記入票に記入すること。

電子オルガン等、複数人での移動を必要とする大型楽器の持込みは不可とする。その場合は動画ファイルを提出しアピールすること。

注3 自作曲について

複数曲可。ただし、各曲の長さは5分未満とする。楽曲自体を考察することが目的であるため、録音状態、使用機材等は問わない。楽曲のスタイルは自由だが、楽曲のデモとして十分な状態を満たすこと。

《デモ音源、楽譜の提出について》

- ①デモ音源は、オーディオファイルで用意すること。オーディオファイルの拡張子はwav、aif、mp3のいずれかとし、USBメモリに保存して面接当日に持参すること。
- ②楽譜（スコア等）を4部面接時に持参すること。簡易でもよいので製本をすること。視聴後、楽曲の部分的な演奏を指示する場合がある。その場合、基本的に使用する楽器はピアノとする。

指揮

※一般選抜（B日程）では、募集しません。

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

以下より1つ選択する。

(1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）

(2) 本学が行う試験（英語）

(3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

2. 楽典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

4. 聴音 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和声聴音・・・大譜表による四声（密集）、8小節程度

〔問題例〕 G dur ト長調 $\frac{2}{2}$ 拍子 8小節



※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

5. 副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること

(1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノンNo.39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノンNo.39の場合は、速度は♩=76程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72程度以上とする。

(2) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

(3) 古典派ソナタより任意の1曲（第1楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること）

6. 専攻実技

- (1) 聴音：旋律（単旋律、二声および四声）の書き取り（四声は木管四重奏の録音による）
- (2) 全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱
- (3) 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い
- (4) スコアリーディング（2管編成程度の管弦楽曲）
- (5) 指揮実技
 - (イ) 2管編成程度の管弦楽曲の初見指揮（演奏は2台のピアノによる）
 - (ロ) モーツァルト：交響曲第32番 ト長調 K.318（演奏は2台のピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスによる）
 - (ハ) ベートーヴェン：『フィデリオ』序曲（演奏は2台のピアノによる）
- ※ (ロ) (ハ) は暗譜で演奏（指揮）すること。
- (6) 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可）
- (7) 和声（バス、ソプラノ課題「初級程度」1時間）
- (8) 小論文（1時間）
- (9) 口述試問

4 音楽文化教育専攻

入学試験科目

1. 英 語

【一般選抜（A日程）】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト。筆記およびリスニング。
- (2) 本学が行う試験
- (3) 資格試験*

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

【一般選抜（B日程）】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等 は利用しない）。

2. 音楽基礎【一般選抜（A日程）のみ実施】

音楽能力の考査（高等学校芸術科「音楽Ⅰ」の教科書相当。楽典、聴き取り、読譜を含む筆記試験）

3. 小論文

当日出題する課題について800字程度で論じる。（60分）

4. 口述試問 任意の音楽実技（5分程度）と視唱を含む。

鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。

- ・音楽実技（「基礎ピアノ」を含む）は暗譜の必要なし。
- ・自作編曲（編曲を含む）を演奏する場合は出願書類と共に楽譜を提出のこと（製本の必要なし）。

○口述試問の質問内容

志望動機、将来の希望などとともに、試験において作成した論文の内容について問う。

○任意の音楽実技について

(1) 演奏時間等

声乐 自由曲1曲（伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）

器楽 自由曲3分以上5分程度（複数曲可。無伴奏）

(2) 楽器について

受験者が持ち込めるものに限る。ただし、以下の楽器のみ貸出可。

ピアノ、電子オルガン(ヤマハエレクトーンELS-020)、コントラバス、ハーブ、チューバ、マリンバ

○「基礎ピアノ」について

2-3分程度の自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない。

5 ミュージック・リベラルアーツ専攻

入学試験科目

1. 英 語

■一般選抜（A日程）は、以下より1つ選択する。

- （1）大学入学共通テスト（筆記およびリスニング）
- （2）本学が行う試験
- （3）資格試験*

※以下のいずれかの資格を利用できる。

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC（アセスメント版を除く）
- ・IELTS（Academic）
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

■一般選抜（B日程）は、上記(1)の大学入学共通テストは利用しない。

2. 面 接

「英語」または「英語と日本語」で行う（試験当日、本人の希望を確認）。

3. 実 技

声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、作曲、指揮、古楽器、邦楽器から実技をひとつ選択

【ピアノでの受験者のみ】

「対面式」と「非対面式（実技の動画審査及びオンライン面接）」から選択することが可能です。

非対面式を選択する場合、パソコン・スマートフォン・タブレットいずれかの機器が必要です。

※パソコンの場合は、カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。

※イヤフォンまたはヘッドフォンを用意してください。

課題曲

■声楽

以下の課題（A）（B）より1つを選択すること。

- （A）自由曲2曲（演奏の途中で打ち切る場合がある。暗譜）
- （B）声楽専攻声楽芸術の課題

■ピアノ

以下の課題（A）（B）より1つを選択すること。

- （A）器楽専攻ピアノの課題
- （B）器楽専攻ピアノ演奏家コースの課題

※ミュージック・リベラルアーツ専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、ミュージック・リベラルアーツ専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

■弦楽器（受験可能な楽器は器楽専攻に準ずる）

以下の課題（A）（B）より1つを選択すること。

- （A）自由曲7-15分程度（複数曲可。暗譜。伴奏なし）
- （B）器楽専攻弦楽器の課題

■管打楽器（受験可能な楽器は器楽専攻に準ずる）

以下の課題（A）（B）より1つを選択すること。

- （A）自由曲7-15分程度（複数曲可。暗譜の必要なし。伴奏なし）
- （B）器楽専攻管打楽器の課題

■作曲

- （1）与えられた動機による楽曲の創作（5時間）
- （2）楽器演奏（自由曲3分以上。自作曲不可。暗譜。演奏後に音楽についての簡単な質問をすることがある）

■指揮

- （1）小論文（英語または日本語60分）
- （2）聴音（単旋律）
- （3）指揮実技 F. ブルグミュラー：25の練習曲 以下の8曲より当日指定 Nos.3, 4, 9, 15, 16, 19, 22, 25
- （4）演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏）※声楽を含まない
- （5）指揮担当教員による面接

■古楽器〔リコーダー、リュート、チェンバロ、オルガン〕

自由曲7-15分程度（暗譜の必要なし。オルガンはペダルなしでもよい）

■邦楽器〔箏（生田流）、長唄三味線、琵琶（鶴田流）、古典尺八〕

自由曲5分以上（複数曲可。暗譜）

6 吹奏楽アカデミー専攻

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

【一般選抜（A日程）】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験*

※以下のいずれかの資格を利用できる。

詳細は p.13 [12] を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC（アセスメント版を除く）
- ・IELTS（Academic）
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

【一般選抜（B日程）】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽 典

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

3. 選択科目 以下の課題の（A）～（D）より1つを選択する。

（A）新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

（B）簡単な初見演奏

1-2分間予見したのち、専攻実技時に無伴奏で演奏する。試験順は、専攻実技 → 初見演奏 → 面接および口述試問、となる。

（C）聴 音 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題

和声聴音・・・・・・・・・ 高音部譜表による三和音、4小節程度

〔問題例〕 a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4小節



※今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する。

（D）副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること

（1）音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。

ハノンNo.39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No.39の場合は、速度は♩=76程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72程度以上とする。

(2) 自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度の曲目を1曲または1楽章。

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

4. 面接および口述試験

5. 専攻実技

課題曲

吹奏楽アカデミー木管楽器

■フルート

(1) 音階および分散和音

次の音型によって音階および分散和音を長調と短調それぞれ1つずつ演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。

長調



短調



(2) 次のの中から任意の一曲を選び演奏すること。

J.Andersen: 24 Studies. [または Etudes.] Op.21 (J. アンデルセン『24の練習曲』作品21) より第4番、第10番、第24番

E.Koehler [または Köhler]: 12 Medium Difficult Exercises. Op.33-2 (E. ケーラー『12の中級練習曲』作品33の2 [または『35の練習曲』作品33の第2巻]) より第5番、第10番、第12番

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

■オーボエ

(1) 音 階

次のA、Bいずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は 任意。
短音階は和声的または旋律的を任意選択。暗譜。

A例



B例



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op.31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

➡ どの特殊管で受験してもよい。

(1) 音 階

R. Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は任意。
暗譜。

(2) C. Rose : 32 Etudes (C. ローズ『32のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※ (2) は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■ファゴット

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 (J. ヴァイセンボーン『50の練習曲』 作品8第2巻) の Nos.1-15より任意の2曲。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

■サクソフォン

➡ ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのどの楽器で受験してもよい。

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から任意。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



- (2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォンのための48の練習曲』[M.ミュールによる増補改訂版] (A. Leduc))より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

※暗譜の必要なし。

吹奏楽アカデミー金管楽器

金管楽器共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階（和声的または旋律的）をそれぞれ1つずつ演奏すること。調性、短音階の種類、音域は任意。暗譜。



■ホルン

- (1) 共通課題（音階および分散和音）

- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Horn (G. コブラッシュ『60のエチュード(ホルン)』)より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■トランペット

- (1) 共通課題（音階および分散和音）

- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet (G. コブラッシュ『60のエチュード(トランペット)』)より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■トロンボーン、バス・トロンボーン

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』)より任意の2曲
- ※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。
- ※バス・トロンボーンで受験する場合は1オクターヴ下げて演奏してもよい。

■チューバ

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (G. コブラッシュ『60のエチュード(チューバ)』)より任意の2曲
- ※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。
- ※使用する楽器の管の種類は問わない。

■ユーフォニアム

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』)より任意の2曲
- ※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

吹奏楽アカデミー打楽器

(1) 打楽器共通課題

- ①鍵盤打楽器による2オクターヴの長音階と短音階。調性は調号3つまでの調から任意。
- 音型は自由。但し、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- ※楽器はシロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンより選択すること。
- ②小太鼓による2つ打ち（楽器は各自持参のこと）

(2) 楽器別課題

下記のいずれか1つを選択すること。

■ティンパニ

- R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger Music) のNos.8、9、10のうち、任意の2曲
- ※暗譜の必要なし。

■小太鼓

- W. F. Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Music) より The Connecticut Halftime
- ※暗譜の必要なし。

■鍵盤打楽器

- M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の39 Etudes よりV、VIIのどちらか1曲
- ※(1) ①と同一楽器で演奏すること。
- ※暗譜の必要なし。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) F. Simandl : 30 Etudes for the String Bass (C. Fischer)より任意の1曲、または任意の自由曲を1曲

※暗譜の必要なし。

※オーケストラチューニング

※伴奏なし。

■ハープ

任意の自由曲1曲

※暗譜の必要なし。

※伴奏なし。



編入学試験

- 1 編入学試験 募集専攻・募集人員
- 2 出願資格
- 3 他大学・短期大学単位認定範囲
- 4 編入学者卒業要件
- 5 日程一覧
- 6 出願手続
- 7 編入学検定料
- 8 編入学試験
- 9 合格発表
- 10 編入学手続
- 11 学費その他の納入金
- 12 教育充実協力金について
- 13 専攻別試験科目・配点
- 14 編入学試験科目・実技試験課題曲

1 編入学試験 募集専攻・募集人員

[1] 編入学学年

2年次および3年次
(ただし、ミュージック・リベラルアーツ専攻は2年次のみ)

[2] 募集人員

若干名

[3] 募集専攻・コース・楽器

募集専攻	コ ー ス ・ 楽 器
声 楽 専 攻	●声楽芸術コース
器 楽 専 攻	●ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン ●弦 楽 器 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター ●木管楽器 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン ●金管楽器 ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム ●打 楽 器
作 曲 指 揮 専 攻	●作 曲「芸術音楽コース」
ミュージック・リベラルアーツ専攻	

2 出願資格

2年次および3年次編入学の共通事項

併願の受験および学部一般選抜との併願はできない。

2年次編入学

本学による事前の単位認定によって*、3年間で卒業が見込めるとされたもののうち、次のいずれかに該当している者。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 4年制大学に1年以上在学（見込の者を含む）し、教職・資格科目を除き30単位以上を修得（修得見込の者を含む）している者
- (3) 外国において相当年次の課程を修了（修了見込の者を含む）し、30単位以上を修得（修得見込の者を含む）している者

3年次編入学

本学による事前の単位認定によって*、2年間で卒業が見込めるとされたもののうち、次のいずれかに該当している者。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 4年制大学に2年以上在学（見込の者を含む）し、教職・資格科目を除き60単位以上を修得（修得見込の者を含む）している者
- (3) 短期大学を卒業した者、または卒業見込の者
- (4) 高等専門学校を卒業した者、または卒業見込の者
- (5) 修業年限2年以上で、かつ、総授業時間数1,700時間以上の専修学校専門課程を修了した者、または修了見込の者
- (6) 外国において相当年次の課程を修了（修了見込の者を含む）し、60単位以上を修得（修得見込の者を含む）している者

* 編入学希望者は2022年11月23日(水)～12月3日(土)までに下記の書類を本学入試課に送付すること。

12月末までに、出願の可否をお知らせします。

- ・成績証明書
- ・出願時に履修中の科目（単位）がある場合は履修登録科目証明書
- ・履修した科目の講義概要、シラバス等(履修した科目のシラバスがわかるように付箋等をつけてください。コピー可)。
- ・氏名、住所、電話番号、メールアドレス、志望専攻・コース名、編入希望年次を明記した文書（書式自由）。

3 他大学・短期大学単位認定範囲

2年次編入学 本学の卒業要件に関わる科目を対象とし、総計30単位まで認定する。
※取得単位数によっては、3年間で卒業できない場合があります。

3年次編入学 本学の卒業要件に関わる科目を対象とし、総計60単位まで認定する。
※取得単位数によっては、2年間で卒業できない場合があります。

4 編入学者卒業要件

編入学を許可された相当年次の入学者と同数の単位数

5 日程一覧

	編入学試験	備考
出願期間	1月7日(土)～17日(火) [消印有効]	
試験期間	2月16日(木)～20日(月)	
合格発表	2月27日(月) 15:00～ 3月1日(水) 17:00	大学ホームページにて発表します。
入学手続期間	3月1日(水)～11日(土) [消印有効]	

6 出願手続

(1) 出願の流れ

出願方法はWeb出願のみです。

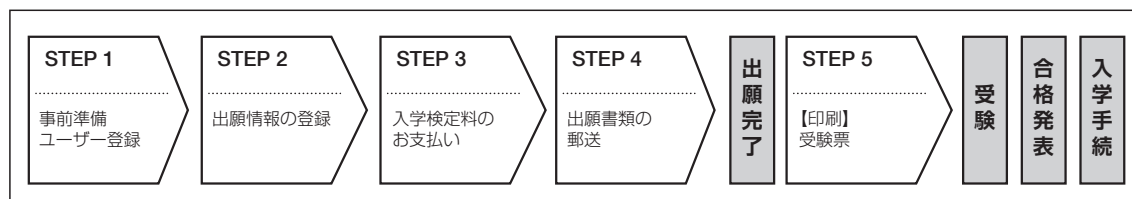
本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下図手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となりますのでご注意ください。

<「出願ガイド」、「出願書類ダウンロード」などWeb出願に必要なページの掲載場所>

入試案内(学部)

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>



STEP1

①Web出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」参照）

- ☐ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
- ☐ メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@grapecity.com」「@sbpayment.jp」「@contact.grapecity.com」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。入学試験用に新たに作成される場合はフリーメールアドレス（@yahoo.co.jpや@gmail.com等）の取得を推奨します。

- ☐ プリンター※
- ☐ PDF表示・印刷ソフトウェア
- ☐ 本人写真（カラー写真データ）

※自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。詳しい使用方法是「出願ガイド」のSTEP1事前準備 1. プリンターの「印刷方法のご確認」を参照してください。

②「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「出願情報の登録」の「Web出願サイトはこちら」からWebサイトにアクセスし、「初めてのの方はこちら」からユーザー登録を行ってください。

※本学受験講習会で登録をしている方はおよび、昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」のチェックを入れた方は再登録不要です。以前登録したメールアドレスとパスワードでログオンしてください。

③出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている出願に必要な書類を確認・準備してください。

STEP2

「出願ガイド」からWeb出願サイトにログオンし、出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイトはこちら」にアクセスし、STEP1で登録を行ったメールアドレスとパスワードでログオン後、「出願」から出願登録を行ってください。

（「出願ガイド」：<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>）

STEP3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で出願期間中に検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

①Web出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。

②本学ホームページ「入試案内(学部)」の「出願書類ダウンロード」から、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。提出前に必ず「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と共に提出してください。

（「出願書類ダウンロード」：<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>）

③レターパックライトを使用して、表面に①で印刷した宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。

レターパックライトはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口から出すことを推奨します。

郵送をもって出願完了となります。

STEP5

受験票の印刷

東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」*が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認し、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。

試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認のうえ、試験会場にお越しください。

受験票は、試験当日持参してください。

※メールが届かない場合は、Web出願サイトにログオンし「受験票印刷」から印刷してください。

(2)出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)
A.Web出願サイト (ユーザー登録、出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)
<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B.出願書類ダウンロード

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>



	出願書類		注意事項
[1]	志願票	上記 A の URL から印刷してください	検定料支払い完了後に印刷してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
[2]	宛名ラベル		書類を郵送する際にレターパックに貼り付けて使用してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
[3]	曲目記入票	上記 B の URL から印刷してください	編入学試験の様式をダウンロードしてください。 志望する専攻の様式より、該当する曲目記入票を提出してください。
[4]	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、 出願書類と共に提出してください。

[5] 伴奏用楽譜 (以下の①～②に該当する志願者)

- ①器楽専攻 (ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス) の自由曲
 - ②ミュージック・リベラルアーツ専攻のうち、声楽(A)(B)課題、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの(B)課題
- ※p.12 「[10] 伴奏用楽譜」を参照のこと。

[6] 創作曲楽譜 (ピアノ・創作コースのみ)

※p.13 「[11] 創作曲楽譜」を参照のこと。

[7] 英語資格・検定試験証明書 (ミュージック・リベラルアーツ専攻資格試験選択者のみ)

※p.13 「[12] 英語資格・検定試験証明書」を参照のこと。

[8] 認定試験 (楽典・聴音・新曲視唱) 認定証のコピー

※本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、認定証のコピーを提出することにより当該科目の試験を免除します。

[9] 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 (外国人留学生のみ)

※外国人留学生で日本語能力試験N1またはN2に合格している場合は提出してください。

[10] 在留カードのコピーまたは住民票（日本国内在住の外国人のみ提出）

※在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくても、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。

※住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3ヵ月以内に発行されたものを提出してください。

[11] パスポートのコピー（日本国外在住の外国人のみ提出）

※氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。

7 編入学検定料

編 入 学 検 定 料	38,000円
納 入 期 間	2023年1月7日（土）～ 17日（火）

・出願期間内にWeb出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。
（注意）納入済みの編入学検定料についてはいかなる理由があっても返還しません。

8 編入学試験

[1] 試験期間

■ 2023年度試験日程（予定）

p.23の日程を参照してください。

[2] 試験場

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒1-9-1）

東京音楽大学 池袋キャンパス（東京都豊島区南池袋3-4-5）

[3] 練習室について

入試期間中、受験者はキャンパスの練習室を無料で利用することができます。
詳細は、受付時に配付する資料を参照してください。

利用可能期間

2月16日（木）～20日（月）

①個人練習室

- ・予約制
- ・1回連続1時間まで（終了後の更新可）

②その他の練習室

- ・予約不要
- ・室内のピアノ使用不可

***各自の専攻実技試験終了後は使用できません。**

[4] 伴奏者の入構について

伴奏者の入構には受験者の受験票のコピーを持参してください。伴奏者は試験当日のみ入構可能です。
入構から退出まで受験者と全て行動をともにし、係員の指示に従ってください。

[5] 試験当日に持参するもの

①東京音楽大学編入学試験受験票

②筆記用具

③必要な楽器、スタンド等

※コントラバス、ハープ、チューバ、ティンパニ、鍵盤打楽器以外の貸出しはしません。

④昼食（学生レストランは、新型コロナウイルス感染状況により営業しない可能性があります。ご了承ください。）

⑤時計

※辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。

※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は使用できません。

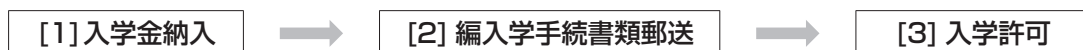
9 合格発表

合格発表は、大学ホームページ <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/goukaku/> で受験番号による発表となります。
電話による問い合わせには応じません。

合格者には、出願時に登録した住所に合格証および編入学手続き書類を郵送します。
現住所が変更になった場合、入試課まで申し出てください。

10 編入学手続

編入学手続の流れは以下のとおりです。



〔1〕 入学金の納入・期間

3月1日(水)～11日(土)までに入学金を納入するとともに、下記書類を入試課へ書留またはレターパックにて郵送してください。3月11日の消印有効です。

※入学金の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

〔2〕 編入学手続に必要な書類

- ①誓約書(本学所定の用紙)
- ②住民票または住民票記載事項証明書
- ③卒業証明書もしくは退学証明書
- ④最終学歴の入った成績証明書
- ⑤学生証用写真(カラー、サイズ縦4.5cm×横3.5cm)
- ⑥その他本学が提出を指示したもの

※詳細は編入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

〔3〕 編入学許可

手続き完了の者には、直ちに編入学許可書を交付します。

〔4〕 編入学辞退

3月30日(木) 11:30までに入試課に入学辞退を申し出てください。なお、納入済みの入学金はいかなる理由があっても返還しません。手続方法の詳細は、編入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

11 学費その他の納入金

〔1〕 学費 (2022年度 参考)

学費等の納入については、4月以降、担当部署よりお知らせします。

〈単位:円〉

納入方法	入学金	授業料	施設拡充費	施設維持費※	合 計
春 学 期	300,000	743,500	390,000	135,000	1,568,500
秋 学 期	—	743,500	—	—	743,500

※ 2年次より 145,000円

〔2〕 学費以外の諸費用 (2022年度 参考)

〈単位:円〉

教職課程費	卒業記念費(卒業時)	後援会費(毎年)／入会金(入学時)	校友会費(4年次)
100,000	10,000	10,000／10,000	20,000

学費に関する最新情報については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



12 教育充実協力金について

本学では、教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。ご寄付は原則として任意でございますが、一口10万円で一口以上のご協力をよろしくお願いします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

13 専攻別試験科目・配点

試験科目・調査書		編入学試験										備考
		英語	専攻別実技試験	副科実技(ピアノ)	コールユーブンゲン	新曲視唱	(三声体 和音・旋律)	(四声体 和音・旋律)	楽典	創作	面接	
専攻・コース名	配点	100点 (注)	100点	各 50 点						A・B・C (3段階)	100点	
声楽	声楽芸術		○	○	○	選択	選択		○			聴音・新曲視唱より1科目選択
器楽	ピアノ、ピアノ演奏家コース		○			○		○	○			
	ピアノ・創作コース		○			○		○	○	○		専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題
	チェンバロ		○			○		○	○			
	オルガン		○	○		○		○	○			
	弦・管・打楽器		○	○		○	○		○			
作曲「芸術音楽コース」			○	○		○		○	○			
ミュージック・リベラルアーツ		○	○								○	

(注) 本学が行う英語試験を受験するか、以下のいずれかの資格を有する者は、出願時に証明書の原本を1種類提出すること。
ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定試験、GTEC(アセスメント版を除く)、IELTS(Academic)、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT®

14 編入学試験科目・実技試験課題

本学個別学力検査を行う。

2023年度学部入学試験の各専攻の入学試験科目の項を参照のこと。併願不可。

■試験内容

1	楽典 (注)	4	副科実技 (ピアノ)
2	新曲視唱 (注)	5	コールユーブンゲン(声楽芸術コースのみ)
3	聴音 (注)	6	専攻実技・課題

※声楽芸術コースは、「新曲視唱」「聴音」より1科目選択

※ミュージック・リベラルアーツ専攻はp.69 [8] 参照

(注) 今年度本学受験講習会にて実施予定の認定試験で認定された者は、本入試での試験を免除する

専攻別実技・課題

[1] 声楽専攻 声楽芸術コース

➡暗譜で演奏すること。伴奏者を同伴すること。

歌曲、オペラ・アリア、オラトリオ・アリアより任意の2曲(演奏時間は曲間を含め7分程度)。

※歌詞は原語で歌うこと。

※アリアは原調で歌うこと。

※ミュージカルナンバー不可

[2] 器楽専攻 ピアノ、ピアノ・創作コース

2023年度学部入学試験課題による。

[3] 器楽専攻 ピアノ演奏家コース

2023年度学部入学試験課題による。

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

[4] 器楽専攻 チェンバロ、オルガン

2つ以上の異なる様式による作品を30分程度用意する。

[5] 器楽専攻 弦楽器

ヴァイオリン	2023年度学部入学試験課題による ※伴奏が必要な楽器は、大学が伴奏者を用意する。
ヴィオラ	
チェロ	
コントラバス	
ハープ	
クラシックギター	

[6] 器楽専攻 管・打楽器

フルート	2023年度学部入学試験課題および10分程度の自由曲 ※伴奏の必要な楽器は、課題曲、自由曲とも <u>伴奏者を同伴すること</u>
オーボエ	
クラリネット	
ファゴット	
サクソフォーン	
ホルン	
トランペット	
トロンボーン	
バス・トロンボーン	
テューバ	
ユーフォニアム	
打楽器	

[7] 作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」

2年次編入学 (1) 作品提出

①ピアノ独奏曲 ②2重奏曲または3重奏曲

出願書類と共に提出すること。

(2) 面接

3年次編入学 (1) 作品提出

①2重奏曲または3重奏曲 ②4人以上の編成による任意の楽曲

出願書類と共に提出すること。

(2) 面接

[8] ミュージック・リベラルアーツ専攻（2年次のみ）

(1) 英語

以下より1つ選択する。

①本学が行う試験

②資格試験・検定試験の証明書を提出

・ケンブリッジ英語検定	140以上	・実用英語技能検定	2級以上
・GTEC（アセスメント版を除く）	960以上	・IELTS（Academic）	4以上
・TEAP	225以上	・TEAP CBT	420以上
・TOEFL iBT®	42 以上		

(2) 面接「日本語及び英語」または「英語」を選択（試験当日、本人の希望を確認）

(3) 専攻実技試験 2023年度学部入学試験課題による。

専攻別曲目記入票 記入方法

記入上の注意

- ① 裏面に必ず氏名を記入してください。
- ② 演奏する曲目の作曲者、曲名、調名、作品番号、楽章等を該当欄に詳しく記入してください（指定がなければ原語、邦語、いずれの記入も可）。
- ③ 楽章を記入する場合は、「第1楽章」「第3楽章」のように「第」を入れてください。
- ④ 作品番号は「Op.3 No.2」のように、明確に記入してください。
- ⑤ 書き損じた場合は、二重線を引き、訂正印を押してから、空いている場所に書き直してください。修正テープ不可。
- ⑥ 出願後の受験曲名、調の変更（訂正）は認めません。また、曲目記入票に記載された内容と異なる演奏をした場合は、原則として失格になりますので、間違いのないよう記入してください。

〈記入例①〉

専攻	課題	作曲者	曲名	調名	作品番号	楽章等
() 専攻	ソナチネ、 ソナタアルバム 程度	L. v. Beethoven	Sonate	A minor G dur	Op.49 No.2	第1楽章

〈記入例②〉

(3)自由曲	
ブラームス ピアノソナタ 第1番 ハ長調 Op.1 第1楽章	演奏開始時間 0分50秒 演奏時間 8分00秒
ショパン エチュード 第5番 Op.10 No.5 CT18	演奏開始時間 9分10秒 演奏時間 1分40秒
自由曲の演奏時間 9 分 40 秒	

〈弦楽器記入例〉

課題	作曲者	曲名	番号	楽章	調名	作品番号
(1)	C.フレッシュ	スケール システム	第5,6,7,8番		ニ長調	
(2)	N.バガニーニ	24のカプリスより	第16番		ト短調	Op.1
(3)	W.A.モーツァルト	協奏曲	第5番	第1楽章	イ長調	K.219

- ・ 上記を参考に、日本語表記優先で記入してください。例えば、Concertolは協奏曲、Sonata (Sonate)はソナタとします。
- ・ 数字は全てアラビア数字とします。

問い合わせ内容	担当課	連絡先(TEL)
入学試験関係全般	入試課	03-6455-2754 03-6455-2774(FAX)
学費	財務課	03-6455-2747
学生寮(女子)・奨学金	学生支援課	03-6455-2756
カリキュラム	教務課(学科実技係)	03-6455-2750
実技レッスン	教務課(レッスン係)	03-6455-2751

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

東京音楽大学

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

問い合わせ先：入試課直通 03-6455-2754（日・祝日除く 9:00～17:00）
03-6455-2774（FAX）

中目黒・代官山キャンパス

J R	「恵比寿駅」西口より徒歩約14分
私 鉄	東急東横線「代官山駅」正面口より徒歩約5分 東急東横線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分
地下鉄	日比谷線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分

池袋キャンパス

J R	「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
私 鉄	西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
地下鉄	丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分 副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分 有楽町線「東池袋駅」より徒歩約15分
都 鉄	都電荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約5分
バ ス	「東京音楽大学前」より徒歩約3分

〈アクセス〉

